



2026年6月24日

各 位

シライ電子工業株式会社
代表取締役社長 五藤 学
(コード番号：6658 東証スタンダード市場)
問い合わせ先： 執行役員 管理担当
深 山 元 太
電話番号：077-586-1333

当社取締役会の実効性評価の結果概要等について

当社取締役会は、株式会社東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 実施方法

当社取締役（社外取締役および監査等委員である取締役を含む）全員を対象に「取締役会実効性評価に関する質問票」による無記名回答方式でのアンケートを実施いたしました。

なお、質問に対する回答は3～5段階による評価を行うとともに、回答の理由・意見・改善すべき点を自由に記載できる形式としております。

2. 主な質問事項

- (1) 取締役会の構成や運営状況（議案の量や議題資料の内容・量の適切性、審議時間や審議の雰囲気について）
- (2) 取締役会の議題（議案の適切性、後継者育成計画、経営陣の選任解任、内部統制、事業リスク、中長期的経営計画について）
- (3) 取締役会を支える体制（各取締役への情報提供、支援制度について）
- (4) 株主その他のステークホルダーとの関係性

3. 分析・評価結果

- (1) 取締役会の構成については、2025年6月開催の株主総会より社外取締役を1名増員したこともあり各専門分野における知識や豊富な経験を有するメンバーで構成されているとの評価が多数を占めました。また、取締役会の運営状況についても、議案や資料の内容・分量も適切であり、自由闊達な議論が行われ、十分な審議時間が確保されているとの意見が多数を占めました。一方で、過去の実績報告にとどまらず、将来を見据えた多様な視点から意見を発信し、取締役としての持論形成能力を高めていく必要性を指摘する意見もありました。
- (2) 取締役会の議題については、コンプライアンスや経営陣幹部の選任・解任および人事評価に関する議論は十分審議されているとの意見が多数を占めたものの、事業を取り巻くリスクへの対応や中長期的な企業戦略については、より一層深度ある議論を行う必要があるとの意見もあり、今後の課題および改善点として真摯に受け止めてまいります。
- (3) 取締役会を支える体制については、役員研修（テーマ：企業価値経営、株式市場分析、財務分析、ガバナンスなど）を通じて、取締役が必要な知識を習得する機会や、外部の専門家から助言を得る機会、適切な情報提供を受ける環境整備がされているとの評価が多数を占めました。
- (4) 株主その他のステークホルダーとの関係性については、ステークホルダーに向けた情報開示の充実や、従業員のエンゲージメントに関する配慮などについて、従来と比較して大きく改善しているとの評価が多数を占めました。

以上の評価結果を総合的に勘案し、当社取締役会の実効性は適切に確保されているものと評価いたしました。

一方で、さらなる改善の余地も認識しており、特に事業リスクへの対応や中長期的な経営戦略について、取締役会における議論をより一層充実させるとともに、議論を通じて得られた認識や提言を経営判断につなげることで、企業価値の持続的な向上に努めてまいります。

以 上